



平成 28 年度第 3 回企画展

広重 最初と最後の東海道

同時開催：地図でたどる東海道

9 月 13 日（火）－11 月 20 日（日）

Part 1 / 9 月 13 日（火）－10 月 16 日（日）

Part 2 / 10 月 18 日（火）－11 月 20 日（日）

主催：静岡市東海道広重美術館

（指定管理者 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト）

協力：公益財団法人アタチ伝統木版画技術保存財団

企画概要

名所絵師として名を馳せた歌川広重は、生涯において数多くの東海道の揃物を手掛けています。風光明媚な名所にとどまらず、街道のさまざまな情景や風物に合わせ、豊かな四季の移ろいと変化に富んだ天候を盛り込んだ抒情的な作品の数々は、現代でも日本をはじめ世界的に根強い人気があります。

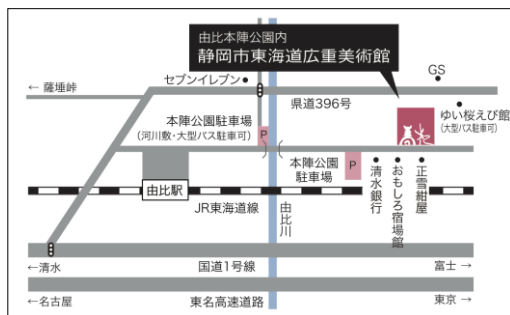
本展では、広重が最初に手掛けた東海道の揃物にして、最も好評を博した『東海道五拾三次之内』（通称保永堂版東海道）と、亡くなる三年前に刊行された最後の東海道の作品『五十三次名所圖會』（通称豎絵東海道）をご紹介します。刊行年に約二十年の開きがある二つの揃物から、広重の風景を描く画法の変化をたどります。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般 510 円（410 円）／大学生・高校生 300 円（240 円）／中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※（ ）は 20 名以上の団体料金



交通案内

電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

展覧会のみどころ

① 見くらべ！広重の東海道

名所絵師として駆け出しのころに刊行された『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）と、絵師として成熟した時期に描いた『五十三次名所圖會』（堅絵東海道）。二つのシリーズでしか味わえない、広重の絵師としての成長と画法や構図の変化にご注目ください。



Part 1 展示作品

歌川広重『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』当館蔵



Part 2 展示作品

歌川広重『五十三次名所圖會 十七 由井 薩多嶺親しらず』当館蔵

② 年に一度の一挙公開

『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）は、広重が最初に手掛けた東海道シリーズにして代表作でもあり、現代でも根強い人気があります。しかし、保存の関係上、浮世絵は年に一ヶ月ほどしか展示できないのです。本展では、その『東海道五拾三次之内』を全点公開する貴重な機会です。ぜひお見逃しなく、広重の世界をお楽しみください。

Part 1 展示作品

歌川広重『東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖』当館蔵



関連企画 1／浮世絵版画の実演＆摺り体験ワークショップ

江戸時代の技法を今に継承する公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団による、浮世絵版画制作の実演と体験ワークショップ。お子さまから大人までご参加いただけます。

□講師：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団

□日時：10月16日（日）午前の部 11:00～12:30 午後の部 14:00～15:30

□参加費：無料 ※入館料別途

□定員（摺り体験）：各部 15 名（要事前申し込み）

□申し込み：お電話（054-375-4454）または WEB サイトにて申し込みください。（先着順）

関連企画 2／当館学芸員によるギャラリートーク

□日時：9月25日（日）、10月30日（日）13:00～13:30

□参加費：無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。（申込み不要・定員制限無）

展示作品

Part 1 『東海道五拾三次之内』(保永堂版東海道)シリーズ 全 55 点

広重の出世作にして、浮世絵版画を代表するシリーズ。版元保永堂から刊行されたことから、通称「保永堂版東海道」の名で広く知られています。



Part 1 展示作品

歌川広重『東海道五拾三次之内 沼津 黄昏圖』当館蔵



Part 1 展示作品

歌川広重『東海道五拾三次之内 原 朝之富士』当館蔵

Part 2 『五十三次名所圖會』(豎絵東海道)シリーズ 全 55 点

豎の構図で描かれていることから通称「豎絵東海道」と呼ばれています。広重が画業の最後に描いた東海道作品で、上空から斜めに見下ろしたダイナミックな構図が多く見られることが特徴です。



Part 2 展示作品

歌川広重『五十三次名所圖會 十五 吉原 不二の沼浮嶋ヶ原』当館蔵



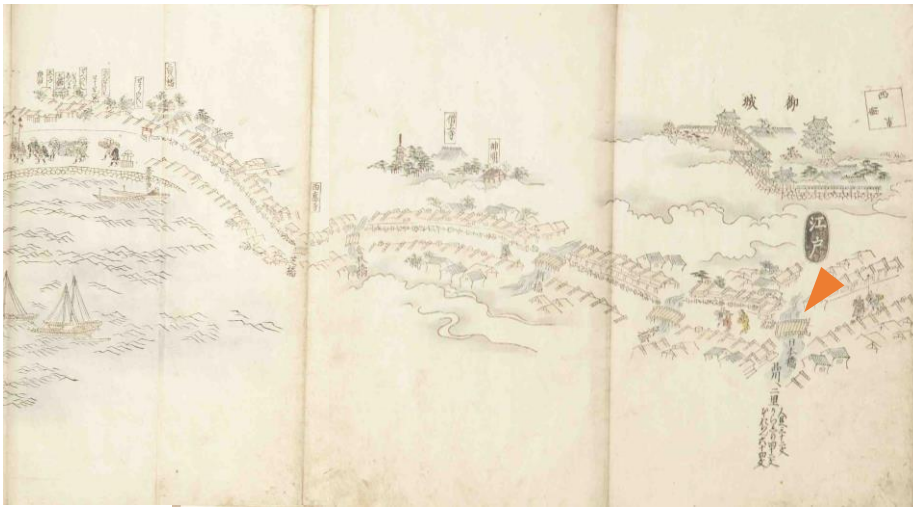
Part 2 展示作品

歌川広重『五十三次名所圖會 四十一 鳴海 名産有松しほり店』当館蔵

同時開催：地図でたどる東海道

江戸から京都に至る東海道の街道の様子を詳細な絵地図として描いた『東海道分間絵図』の中から、江戸から静岡市内（二峠六宿）までの道のりをご紹介しますとともに、絵図に登場する場所や建物を描いた『東海道名所風景』（通称御上洛東海道）を展示いたします。

絵地図に描かれた場所を浮世絵とともにご紹介



Part 1 展示作品

遠近道印作、菱川師宣画『東海道分間絵図 巻一』（部分）当館蔵

日本橋



Part 1 展示作品

三代歌川豊国『東海道 日本橋』当館蔵



Part 2 展示作品

遠近道印作、菱川師宣画『東海道分間絵図 巻二』（部分）当館蔵

三保松原



Part 2 展示作品

惺々周磨（河鍋曉斎）『東海道名所之内 三保松原』当館蔵

美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版木の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

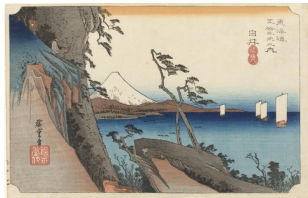
15 歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与えています。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 5 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



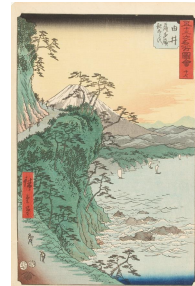
1



2



3



4



5

□ 作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|--|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 4. 歌川広重 | 『五十三次名所圖會 十七 由井 薩多嶺親しらす』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 5. 惺々周磨（河鍋暁斎） | 『東海道名所之内 三保松原』静岡市東海道広重美術館蔵 |

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等はご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。



『広重 最初と最後の東海道』

同時開催『地図でたどる東海道』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. ☐ 展覧会ポスターイメージ
2. ☐ 歌川広重 『東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺』
3. ☐ 歌川広重 『東海道五拾三次之内 箱根 湖水圖』
4. ☐ 歌川広重 『五十三次名所圖會 十七 由井 薩多嶺親しらす』
5. ☐ 惺々周麿 『東海道名所之内 三保松原』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等のご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CD などお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp